

光雲

平成二十五年
（春）

脚下照顧ゝ行いを振返るゝ

明けましておめでとうございます。今年も無事に新しい年を迎えることができました。この冬は事前の予想に反して非常に寒い冬となり、年越し寒波を心配していましたが、正月の朝起きると外はキラキラと輝く銀世界が広がり、清浄な姿を見せていました。天気も良く、初日の出に手を合わせた方も多いのではないかと思います。お寺は谷の間にありますから、日の出は九時頃と遅い時間でしたが、綺麗な初日の出となりました。

さて、先日初日の出についてある方から面白い話を聞きました。その方は、毎年大晦日の夕方になったら、日の入りが見える場所に行き、沈んでゆく太陽に手を合わせて一年間無事に過ごせた事に感謝しておられるというのです。何気なく大晦日の夜を迎え、日の入なんて気にも

していなかった私は目から鱗のお話でした。禅の言葉に脚下照顧という言葉があります。これは自分の足元をしつかり見直しなさいという言葉で、お寺の玄関などに書いてある事が多いものです。玄関で靴を脱ぐときに、脱いだ靴を気にもせず入るとどうなるでしょうか？玄関も乱れますし、帰りに靴を履く時にも直ぐに履くこともできないでしょう。つつい進むことばから考えがちな私達ですが、一日の最後、一年の最後に過ごしてきた時間に感謝して手を合わせられるようなこの一年にしてゆきたいものです。

正月用の祈祷札の版木を新調致しました。皆様の災難退滅・招福開運をお祈りしております。

住職 九拝



雪化粧のお寺

【坐禅会のご案内】

お寺で一緒に坐禅をしませんか？

毎月第四土曜日

十六時～十七時頃



【年間行事予定】

一月一～三日・・・大般若祈祷会
二月十五日（金）・・・涅槃会
三月十七日～二十三日・春彼岸
二十日（水）・・・千巻心経
五月八日（月）・・・花祭り
七月二十四日・・・お地藏供養
八月前半・・・棚経
八月七日～十五日・・・お盆
九月二十日～二十六日・秋彼岸
二十三日（月）・・・千巻心経
十二月末・・・歳末行事